

memo

脱炭素社会推進シンポジウム

～ひょうごから発信する脱炭素社会～

日 時：令和5年2月2日（木）14：00～16：30

場 所：兵庫県公館 大会議室

開催方法：ハイブリッド方式（対面・オンライン）

プログラム

- 開 会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔14:00〕
- 開会あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔14:05〕
兵庫県知事 齋藤 元彦
- 基調講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔14:10〕
「今求められる脱炭素経営～変革の時代にチャンスをつかむための戦略～」
地球環境戦略研究機関(IGES) 参与 西岡 秀三
- 企業の脱炭素化に向けて～ひょうご版再エネ 100 事業の紹介～・・・・・・・・〔15:00〕
兵庫県環境部環境政策課 副課長兼温暖化対策班長 満月 卓
- 休憩・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔15:20〕
- パネルディスカッション「脱炭素経営で世界をリードする兵庫へ」・・・・・・・・〔15:30〕
パネリスト：三井住友銀行 サステナビリティ本部 副本部長 金子 忠裕
神戸大学 カーボンニュートラル推進本部 本部長 玉置 久
地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター プログラムディレクター 小嶋 公史
神戸新聞社 経営企画局経営企画部専任部長 編集委員 辻本 一好
兵庫県環境部長 菅 範昭
コーディネーター：地球環境戦略研究機関(IGES) 理事長 武内 和彦
- 閉会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔16:20〕

主催：兵庫県、株式会社三井住友銀行、国立大学法人神戸大学、公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)、株式会社神戸新聞社

共催：公益財団法人ひょうご環境創造協会

2050年カーボンニュートラルを実現するには、2030年までの取組が鍵を握ると言われています。兵庫県では、2022年3月に「兵庫県地球温暖化対策推進計画」を改定し、2030年度の温室効果ガス削減目標を2013年度比▲48%、再生可能エネルギー導入量を100億kWhと強化しました。

この非常に高い目標を達成するためには、県内事業者、県民、団体等への幅広い情報の共有や取組の支援が重要となります。

そこでこのたび、三井住友銀行、神戸大学、地球環境戦略研究機関(IGES)、神戸新聞社及び兵庫県の5者が協定を締結し、地域の脱炭素化に向け、連携して取り組んでいくこととしました。

【脱炭素社会の推進に関する包括連携協定の締結内容】

- ①2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップの検討や県への助言
- ②脱炭素化に関する広報や普及啓発
- ③その他脱炭素化に関する検討・取組に関する各種支援
- ④次世代への環境教育に関する支援



登壇者プロフィール

基調講演

IGES 参与 西岡 秀三

1939年東京都生まれ 東京大機械工学科 工学博士(制御工学、システム工学)
旭化成(石油化学・エネルギー・企画開発)を経て1979-1999 国立環境研究所にて、地球環境研究(主に気候政策)に従事。米国 MIT および UC/Irvine 客員研究員、東工大社会理工学研究科教授、慶応大政策・メディア研究科教授を経て、2001年より国立環境研究所理事(研究担当)、2007年より地球環境戦略研究機関 研究顧問。

1988年より2007年までIPCCメンバー(影響部会副議長、章責任執筆者などで貢献)。環境省低炭素社会シナリオ研究プロジェクトリーダー、文科省気候変動モデル革新プログラム共同統括、中央環境審議会気候変動防止政策小委員会委員長、東京都環境審議会会長などを通じて政府気候政策立案に貢献、「地球環境政策の科学的基盤構築」によって、日経地球環境技術賞(1997)、KYOTO 地球環境の殿堂入り(2022)など受賞。著書:「低炭素社会のデザイン」岩波新書、「日本低炭素社会のシナリオ(編著)」日刊工業新聞社、「地球温暖化と日本」古今書院など。



パネルディスカッション(コーディネーター・パネリスト)

IGES 理事長 武内 和彦

1951年和歌山市生まれ。農学博士。公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)理事長。東京大学未来ビジョン研究センター特任教授、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)客員教授、中央環境審議会会長代理、自然環境部会長、農林水産省世界農業遺産等専門家会議委員長などを兼任。市村地球環境学術貢献賞、みどりの学術賞などを受賞。専門は自然環境学、地域生態学、サステナビリティ学。



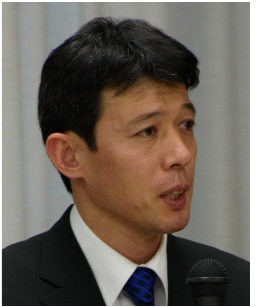
三井住友銀行 サステナビリティ本部 副本部長 金子 忠裕

1992年三井住友銀行(前・さくら銀行)入行。三井住友フィナンシャルグループ企画部 IR 室長や欧州営業部部長を経て、2020年よりサステナブルビジネス推進室長に就任、2022年より現職。



IGES 関西研究センター プログラムディレクター 小嶋 公史

開発コンサルタントとして環境分野での海外開発援助事業に従事後、英国ヨーク大学で環境経済・環境管理分野の博士号を取得、2005年よりIGESにおいて持続可能な開発をテーマに研究プロジェクトに従事。



神戸大学 カーボンニュートラル推進本部 本部長 玉置 久

1990年京都大学助手。1995年神戸大学講師、助教授を経て、2007年より教授、現在に至る。この間システム情報学研究科長やバリュースクール長などを兼務。専門はシステム最適化の方法論。



神戸新聞社 経営企画局経営企画部専任部長 編集委員 辻本 一好

1991年神戸新聞社入社。経済部、社会部を経て、論説委員として環境、エネルギー、農林水産業、災害分野の社説を担当。「地エネと環境の地域デザイン協議会」のコーディネーターを務める。



兵庫県環境部長 菅 範昭

1990年兵庫県入庁。2016年農政環境部環境管理局環境整備課長、2018年農政環境部環境管理局水大気課長、2019年農政環境部環境管理局長を経て、2022年より現職。



◇ 企業の脱炭素化に向けて ～ひょうご版再エネ100事業の紹介～

ひょうご版再エネ100ウェブサイト 開設のお知らせ

兵庫県では温室効果ガス排出量の約7割を占める産業業務部門において、県内事業者が利用するエネルギーをできる限り再生可能エネルギーで賄い、温室効果ガスの削減を進める『ひょうご版再エネ100』を推進しています。

今年度新たに「ひょうご版再エネ100 再エネ導入応援プロジェクト」と題し、ウェブサイトを開設。県内事業者における再生可能エネルギーの導入促進を目的に、再生可能エネルギーを普及させようとする事業者の情報をウェブサイトを通じて提供し、再生可能エネルギーの導入拡大を支援いたします。



詳しくは HP にてご確認ください。
<https://hyogo-saiene100.com/>

